課題申請用 下書き様式

＜成果専有課題（構造生物学分野）＞

■■■■■　ページ１：基本情報　■■■■■

０．申請期（選択必須）※題種・申請期によって選択可能なビームラインが異なります

|  |
| --- |
| 20xxAまたは20xxBを選択してください。 |

１．実験課題名（入力必須）

　１-1．日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

　１-2．英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

1-3. 公表用実験課題名：日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

1.4. 公表用実験課題名：英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

２．希望ビームライン・装置 ([装置一覧表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/equipment.pdf))

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ビームライン | 装置 |
| 第1希望（入力必須） | 「PX-BL」を選択してください |  |
| 第2希望 |  |  |
| 第3希望 |  |  |

３．研究分野分類

|  |  |
| --- | --- |
| [研究分野分類表](http://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/research_area_j.pdf)を参照（入力必須） | 小分類 その他の場合のコメント |
| 　大分類： | 　小分類： |  |

４．サイエンスキーワード（最大50文字）

|  |
| --- |
|  |

５．運転モード（詳細は右記リンクをご覧ください：<https://user.spring8.or.jp/?p=15836>）

|  |
| --- |
| 希望なし(いずれのモードでも可)：＿＿　等間隔モード（A or B or Cモード：いずれかのモード指定なし）：＿＿　モード指定必須：＿＿　 |

６．モード希望単位

|  |
| --- |
| （モード指定必須選択時）モード希望順位（A, B, C, D, E, F, G, H）※第1希望：＿＿　第2希望：＿＿　第3希望：＿＿　第4希望：＿＿　第5希望：＿＿　その他：＿＿ |

※ D,EモードはA期のみ、F,GモードはB期のみ運転します。

■■■■■　ページ２：共同実験者　■■■■■

７．共同研究者：ユーザーカード番号、氏名、所属

|  |
| --- |
|  |

注）共同実験者も実験責任者同様、事前にユーザー登録が必要です。Web申請時には、ユーザーカード番号の入力により、氏名/所属が自動入力されます。共同実験者のユーザーカード番号が不明の場合、氏名/所属による検索も可能ですが、共同実験者が氏名/所属によるユーザー情報検索を拒否している場合、実験責任者がユーザーカード番号を検索できません。必要な場合は、共同実験者に、ユーザー登録 > 登録内容確認/変更ページにて設定を変更するよう事前にご連絡ください。なお、課題採択後も共同実験者の変更は可能です。

■■■■■　ページ３：安全に関する記述、対策　■■■■■

８．安全に関する記述、対策

8-1　安全に関する手続きが必要なもの※1〜5

|  |
| --- |
| （□）該当なし |
| （　）高圧ガス容器持込み実験（　）放射性同位元素の持込み及び使用（　）放射性発生装置の新設及び改造、使用目的の変更、性能の変更（　）国際規制物資（核原料、核燃料物資等）の使用（　）法規制されている装置等の設置（　）法規制されている化学物質の使用（　）特定外来生物の持込み（　）牛の特定部位の持込み（　）輸入禁止品（植物防疫法）の持込み（　）遺伝子組換え実験（　）ヒト由来材料を用いる実験（　）高出力レーザ機器の持込み（　）動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）の持込み（　）特定生物試料（他の生物に感染性を有する生物・物質及びそれに由来するもの）の持込み |

※1：該当する物質および実験は、使用または実施前に手続きが必要なので、来所前に[必要書類](http://user.spring8.or.jp/?p=28858&lang=ja)を提出すること。

※2：｢法規制されている装置等」とは、高圧ガス製造施設、局所排気設備・ガス供給排気設備、クレーン等。

※3：｢法規制されている化学物質｣とは、
特定物質・第一種指定物質（化学兵器禁止法）、特定毒物（毒劇法）、製造等禁止物質・石綿等（安衛法）、薬事法の指定薬物、麻薬及びその原料、覚せい剤及びその原料、大麻（樹脂）、あへん及びその原料等、向精神薬、指定数量1/5以上の危険物（消防法）。

※4：｢高出力レーザ機器｣とは、JIS C-6820に規定するクラス4、3B及び3Rのレーザ。

※5：｢特定生物試料｣とは、病原微生物（感染性を持つ核酸・プラスミド・プリオン等を含む）、寄生虫並びにこれらの産生する毒性物質、発ガン性物質及びアレルゲン等、生物学的相互作用を通して、人体・家畜・農水産物に危害を及ぼす要因となるもの。

8-2　SPring-8において必要とする施設の装置、器具（最大200文字）

|  |
| --- |
| ビームラインに常設しているレーザ機器を使用する場合(例：BL40XUのYAGレーザ)は、“常設しているレーザを使用”とご記入ください。 |

8-3　測定試料及びその他の物質（入力必須：最低1項目は全ての欄に記入してください。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名※6 | 形態(形状)※7 | 量と単位※8 | 危険性※9 | 使用目的※10 | 拡散防止及び処理方法 | 安全対策 | リスクレベル※11 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※6：組成も記入すること。略称不可。

※7：形態とは持ち込む時の状態、形状とは中の物質の状態をいう

（例：キャピラリー(粉末)、ボンベ(ガス)、プレート(結晶)など）。

※8：単位を付けること。

※9：毒物、劇物、有機溶剤、特定化学物質、危険物など。

※10：測定、洗浄、冷媒、麻酔など。

※11：化学物質リスクアセスメント結果を入力。詳細はこちら(<http://user.spring8.or.jp/s/risk-assessment-j>)。アセスメント対象外物質の場合は、プルダウンメニューの「対象外」を入力してください。

8-4　持ち込む装置、器具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様※12 | 安全対策 |
|  |  |  |

※12：電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

■■■■■　ページ４：提案理由など　■■■■■

９．提案理由（最大2,500文字）（入力必須）

審査の対象にはしませんが、研究の目的等、後の項目の実験方法等の理解に必要な事を簡単に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

１０．放射光での実験経験（最大800文字）（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ５：実験方法　■■■■■

１１．実験の方法（レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度などを明確にする）（最大3,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| 技術審査に必要な情報となりますので、CryoTEM利用の場合は、CryoTEMを利用予定であることに加え、測定試料となる精製蛋白質もしくは複合体の調製に向けた取り組みと、その結晶解析ないしbioSAXS測定に向けた取り組みの状況を合わせて記載してください。また、自動測定利用予定であることおよびその実験方法、測定する試料についても明確に記載してください。 |

１２．ビームライン選定の理由（最大300文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| 測定を希望するビームライン（複数可）について、希望する理由を記述して下さい。放射光ビームラインとCryoTEMの両方を利用する研究課題が募集対象となっていますので、CryoTEMのみを希望する申請課題は受け付けておりません。 |

１３．使用するエネルギー（波長）又は特性線（例：Pb-L）（最大300文字）

|  |
| --- |
|  |

１４．シフト数算出の根拠（最大2,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| 測定を希望するビームライン（複数可）について、今期および来期の実施計画と必要と思われるシフト数を参考値として記入し、その算出根拠を記述してください。CryoTEMについても必要に応じて記述してください。 |

■■■■■　ページ６：画像ファイル添付　■■■■■

１５．研究の目的、または課題内容の記述の中で使われる図表を３点まで添付できます。

注）アップロード可能なファイル形式は、JPG/JPEG, GIF, PNGで、ファイルサイズ制限は各1MBです。

Fig. 1:

Fig. 2:

Fig. 3: